

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-20	高等学校	数学科	数学Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	数Ⅱ 183-901	よくわかる 新編数学Ⅱ		

1. 編修の基本方針

- ①既習事項を確認する教材を各章の冒頭に用意し、数学の系統性が実感できるようにし、既習事項をもとに主体的に見通しをもって学習に取り組めるようにした。
- ②当該科目に関する知識と技能を確実に身につけ、それらを活用して思考・判断・表現する能力を伸ばすために、記述や題材を工夫した。
- ③1つの題材に対して複数の考え方があることを適宜示し、いろいろな立場を尊重する態度を養うことができるようにした。
- ④生活に関連のある題材や数学を発展させた先人の業績について扱うことで、数学に対する興味・関心を高め、社会の形成・発展に主体的に関わろうとする態度を養うことができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1章 式と証明	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 ・相加平均と相乗平均の図形的な意味に関する内容を扱い、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにした(第1号)。 	<p>p. 9、30</p> <p>p. 27</p>
2章 複素数と方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の表し方について話し合う場面を設け、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 	<p>p. 41</p> <p>p. 51</p>
3章 図形と方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・生活との関連を重視し、座標の考えを用いた位置の表し方の身近な事例を扱った(第2号)。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 	<p>p. 53</p> <p>p. 60、79</p>
4章 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> ・生活との関連を重視し、日常生活の中に現れる一般角の事例を導入の場面で扱った(第2号)。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 ・加法定理の応用例として3倍角の公式を取り上げ、真理を求める態度を養えるようにするとともに、創造性を培えるようにした(第1号・第2号)。 	<p>p. 96</p> <p>p. 103、116</p> <p>p. 132</p>

<p>5章 指数関数・対数関数</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 • 生活との関連を重視し、日常生活の中にある指数・対数に関する話題を扱った(第2号)。 	<p>p. 143 p. 158</p>
<p>6章 微分と積分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生活との関連を重視し、箱の容積に関する話題を扱った(第2号)。 • 1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 	<p>p. 179 p. 197</p>
<p>課題学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 3項式の展開、高次方程式の解の見つけ方、三角形の面積、コサインでの三角関数の合成、折りたたんだ紙の厚さに関する課題を扱い、真理を求める態度や自他の協力を重んずる態度を養えるようにした(第1号・第3号)。 • 身近な題材を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。 • コンピュータと3次関数のグラフに関する課題を扱い、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにした(第1号)。 	<p>p. 200 - 202、 204 - 205 p. 203 p. 206 - 207</p>
<p>巻末</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 数学の歴史に関する内容を扱い、数学を発展させた先人たちの業績に触れることで、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした(第5号)。 	<p>p. 239</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 各項目が主体的に取り組めるように「学習のねらい」を設けた。
- 読みにくい漢字には積極的にルビを添え、一般的な教養も身につくよう配慮した。
- 思考力、表現力、判断力を育成するために、協働的に取り組む「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「説明してみよう」、「調べてみよう」を本文や課題学習などに設けた。
- 生徒や先生のキャラクターを登場させ、親しみやすい教科書となるようにした。
- 基本的な知識と技能を習得するために、節末に「確認問題」、巻末に「補充問題」を設けた。
- 節末の「確認問題」を中心に、理解を促すための自由に利用できるコンテンツを用意した。
- 各章の学習内容を応用したり組み合わせたりして解く、挑戦しがいのある問題を巻末の「総合演習」で扱った。
- 巻末に、教科書で扱っている全ての問題の解答を掲載し、学習したことを確認できるようにした。
- 巻末のさくいんでは検索性を上げるため、用語に公式や図を添えた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-20	高等学校	数学科	数学Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	数Ⅱ 183-901	よくわかる 新編数学Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 学習者にとって理解しやすい教科書

- ・教材の配列については、生徒が無理なく理解できるように十分配慮した。とくに、中学校までの学習内容とのつながりを重視し、既習事項の確認ができる「つながる数学」を設け、初出の内容の学習に主体的に取り組めるようにした。
- ・学習内容はできるだけ細分化し、段階を追って確実に知識や技能が身に付けられるようにした。
- ・天下りの説明はできるだけ避け、具体例を通じて理解できるような記述にした。
- ・例題を解いた後に、「解法のポイント」として要点を振り返ることができるようにし、問題解決に活用できるようにした。
- ・計算の負担を軽減し、本質部分の理解に集中できるよう、十分配慮した。
- ・各節の標準的な内容については、繰り返し練習できるように、節末に「確認問題」、巻末に「補充問題」を設けた。
- ・理解を促すために、節末の「確認問題」を中心に、スマートフォンやタブレット、パソコンで自由に利用できるコンテンツを用意した。
- ・巻末に、教科書で扱っている全ての問題の解答を掲載し、学習したことを確認できるようにした。

(2) 数学への興味・関心を喚起し、数学的な見方・考え方を働かせることを促す教科書

- ・章扉で、各章における学習のつながりと目標を掲載した。
- ・各項目が主体的に取り組めるように「学習のねらい」を設けた。
- ・具体的な問題を解決する場面を取り上げ、数学的な見方・考え方のよさを感得できるようにした。
- ・思考力や表現力、判断力を育成するため、協働的に取り組む「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「説明してみよう」、「調べてみよう」を本文や課題学習などに設けた。
- ・節末や章末では、理解を深めるための問題や、本文に関連する興味深い内容も扱うようにした。

(3) ビジュアル面を工夫した、読みやすい教科書

- ・ユニバーサルデザインのフォントや配色を採用し、読みやすさの向上に努めた。
- ・公式などの重要事項は、太字にしたり枠で囲んだり、表にまとめたりして、強調するようになった。
- ・本文をカラーにしたり、図版・イラスト・アミ版などを適切に掲載したりして、視覚的な効果にも配慮した。また、生徒や先生のキャラクターを登場させ、親しみやすい教科書となるようにした。
- ・巻末のさくいんでは検索性を上げるため、用語に公式や図を添えた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1章 式と証明 1節 式と計算 2節 等式・不等式の証明 課題学習	(1) いろいろな式 ア (ア)、(イ) イ (ア)、(イ)	p. 3 - 30、200	16
2章 複素数と方程式 1節 複素数と方程式の解 2節 高次方程式 課題学習	(1) いろいろな式 ア (ウ)、(エ)、(オ) イ (ウ)	p. 31 - 52、201	13
3章 図形と方程式 1節 点と直線 2節 円の方程式 3節 軌跡と領域 課題学習	(2) 図形と方程式 ア (ア)、(イ)、(ウ)、(エ) イ (ア)、(イ)	p. 53 - 94、 202 - 203	27
4章 三角関数 1節 三角関数 2節 三角関数の加法定理 課題学習	(4) 三角関数 ア (ア)、(イ)、(ウ)、(エ) イ (ア)、(イ)、(ウ)	p. 95 - 132、204	23
5章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数 課題学習	(3) 指数関数・対数関数 ア (ア)、(イ)、(ウ)、(エ) イ (ア)、(イ)、(ウ)	p. 133 - 158、205	16
6章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 関数の値の変化 3節 積分 課題学習	(5) 微分・積分の考え ア (ア)、(イ)、(ウ) イ (ア)、(イ)、(ウ)	p. 159 - 199、 206 - 207	25
		計	120

※年間授業時数を 120 時間として配当している。

※該当箇所には、発展的な学習内容は含まない。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-20	高等学校	数学科	数学Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	数Ⅱ 183-901	よくわかる 新編数学Ⅱ		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
45	対称式と基本 対称式	2	(1) いろいろな式 「式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付 け多面的に考察すること。」	1
合計				1

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容